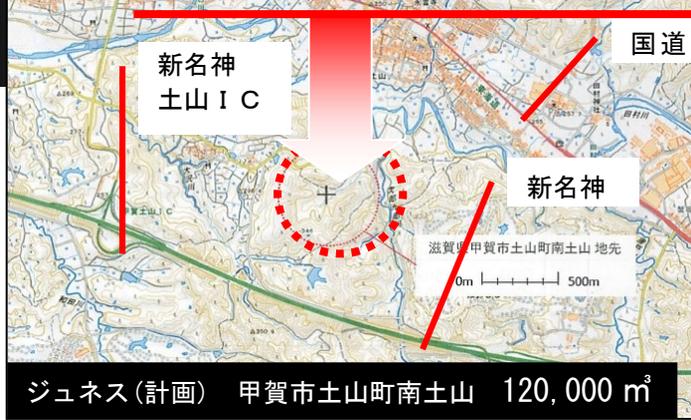


県内最大規模の安定型産業廃棄物最終処分場建設計画



現地調査と懇談会では、予定地周辺だけでなく下流域の市民からも、自然と生活環境に大きな影響を及ぼすことに不安の声が出されています。また予定地はすでに事業者が土地買収を終えていることもあり、「反対しても、計画は進むのか」と疑問の声が寄せられています。建設計画の許認可は県です。

ポイント①

許可要件を満たさない場合は不許可に

産廃施設建設の許認可は、滋賀県です。その点で「許可要件を満たさない場合は、不許可になる」と環境省が明確に述べました。

ポイント②

市民の声を届ける機会を生かすこと

現在、環境アセスメントが始まったばかりです。許認可に至るまでには、市民の声を生かす機会が何度もあります。その機会を生かすことです。予定地周辺だけでなく、下流域の市民の皆さんと力を合わせて「自然と生活環境を守れ」と声をあげていくことが大切。

ポイント③

8割以上は県外 搬入規制を求める

事業者の計画では、搬入される8割が県外からの産業廃棄物です。懇談会では「産廃施設の必要性は理解もするが、県外のゴミをなぜ受け入れる必要があるのか。規制はできないのか」という声が寄せられました。岡田重美議員は、全国の事例をふまえて「搬入規制条例」を提案しました。条例制定の取組も今後必要です。

自然と生活環境に大きな影響……

環境省は5月29日の参院環境委員会で「事業者が土地を取得しても、周辺地

域の生活環境の保全ができないなど計画が不適切であれば、産廃最終処分場

として許可されないこともありますよね」との山下参院議員の質問に「許可要

件を満たさない場合は、不許可になる」と明確に述べました。この答弁は当たり前のことを述べたことですが、非常に大事です。

「許可要件を満たさない場合は不許可になる」



山下よしき参院議員

5月29日参議院環境委員会で。



岡田重美甲賀市議会議員

6月16日甲賀市議会一般質問で。

国会でも 県会・市会でも 現地調査・懇談会をふまえて

土山町南土山地先で計画されている県内最大規模の産業廃棄物最終処分場について、日本共産党の山下よしき参院議員、中山和行県議会議員、岡田重美市議会議員は、現地調査と懇談会をもとに、市民の皆さんから出された意

見をふまえ、自然と生活環境を守るために具体的な問題点を質しました。計画地はすでに土地買収が終わっています。建設のための環境アセスはまだ始まったばかり。今後引き続き市民の声をあげていくことが大切です。

山下よしき参院議員国会報告会

4月6日の現地調査と懇談会をもとに5月29日の参議院環境委員会で質問した日本共産党の山下よしき参院議員・党副委員長が6月7日、再び土山町に訪れ、「国会報告会」を開きました。また報告後、集まった市民の皆さんから様々な意見が寄せられ懇談しました。今後も引き続き、運動を広げていくことを確認しました。



日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2025年 6月 29日 第545号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696



西山 実
水口町本丸 3-28
TEL 62-3044
Fax 62-3044